

学報

スポーツ文化の風を発信する

NITTAIDAI

24

2010.Spring



新しいスタート

巻頭 ■ 日体大の未来像を形に — 1

～平成22年度事業方針及び事業計画について

特集 ■ 新入生メッセージ — 3

～新日体生が語る 夢、希望、挑戦

新入生導入プログラム『体育・スポーツ科学入門』より — 7

第21回オリンピック冬季競技大会(2010/バンクーバー)開催 — 9

新教育研究棟・体育館棟完成迫る(東京・世田谷キャンパス) — 11

スポーツシンポジウム『スポーツの中の社会的常識』 — 13

クリーン大作戦展開中 — 15

NEWS ● 09年度下半期ニュース — 17

クラブ情報 ● 09年度下半期クラブの主な大会成績

INFORMATION ● dot.NITTAIDAI — 19



# 日体大の未来像を形に

新年度がスタートした。変化の時代にあつて、学生、そして社会の期待に応える日体大のあり方とは。時代の「チャンスメーカー」となるべく、諸改革を強力に推進し、本学のミッション・ヴィジョンを追求していきたい。

## 平成22年度事業方針及び

### 事業計画について

日本体育大学 日本体育大学女子短期大学部

#### 1 事業方針

人口・産業・社会の各構造等が大きく変わる中、中央教育審議会において大学教育の構造転換の必要性が検討されていることを踏まえ、社会や学生からの多様なニーズに積極的に対応するとともに、大学としての社会的使命を果たすべく、より開かれた存在を目指し、鋭意、大学改革に取り組む。

平成19年2月にスタートした日本体育大学東京世田谷キャンパス再開発計画の推進に努めるとともに、検討中となっている横浜・健志台キャンパス整備のマスタープランの策定を目指す。また、平成22年5月に竣工する教育研究棟及びスポーツ棟の有効活用を図るため、実効性の高いローリングプランにより、機能的かつ効率的な運用及び適切な管理を実行し、より質の高い学習環境を整備し、学生支援を行う。

教学面においては、大学の2009カリキュラム及び短期大学部の2010カリキュラムの進捗状況を常に検証し、より質の高い教育が提供できるよう改訂に努め、学生生活における各種の啓発活動と合わせ、教養豊かで社会において即戦力となる人材の育成に傾注するとともに、学生の就職活動支援のさらなる充実に努め、各方面に対して優秀な人材の供給に尽力する。

それらを実現するためにも、教職員のスキルアップは欠かすことのできない重要事項として捉え、FD、SDに積極的に取り組み、機能的な組織の醸成を図る。

#### 2 事業計画

##### 1 東京世田谷キャンパス再開発及び既存施設・設備の整備

平成22年5月に教育研究棟（1街区）及びスポーツ棟の3分の2が完成する。ただし、図書館については、自動書架導入に伴い、全機能が稼働するためには約3か月の期間を必要とする。これらを踏まえ、後学期から授業が展開される新校舎の有効な運用・管理計画を立案・実行するとともに、第2期工事竣工後、速やかに第3期工事に着手して、遅滞なく再開発を進行させる。2号基本金組入れについては、継続3年目（最終年度）となる計画を予定どおり実行する。また、横浜・健志台キャンパスの耐震補強並びにプール、スポーツ・トレーニングセンター、図書館及び東京・世田谷キャンパスの学生寮の整備に焦点を絞り、今年度中に実行に向けての計画を検討する。

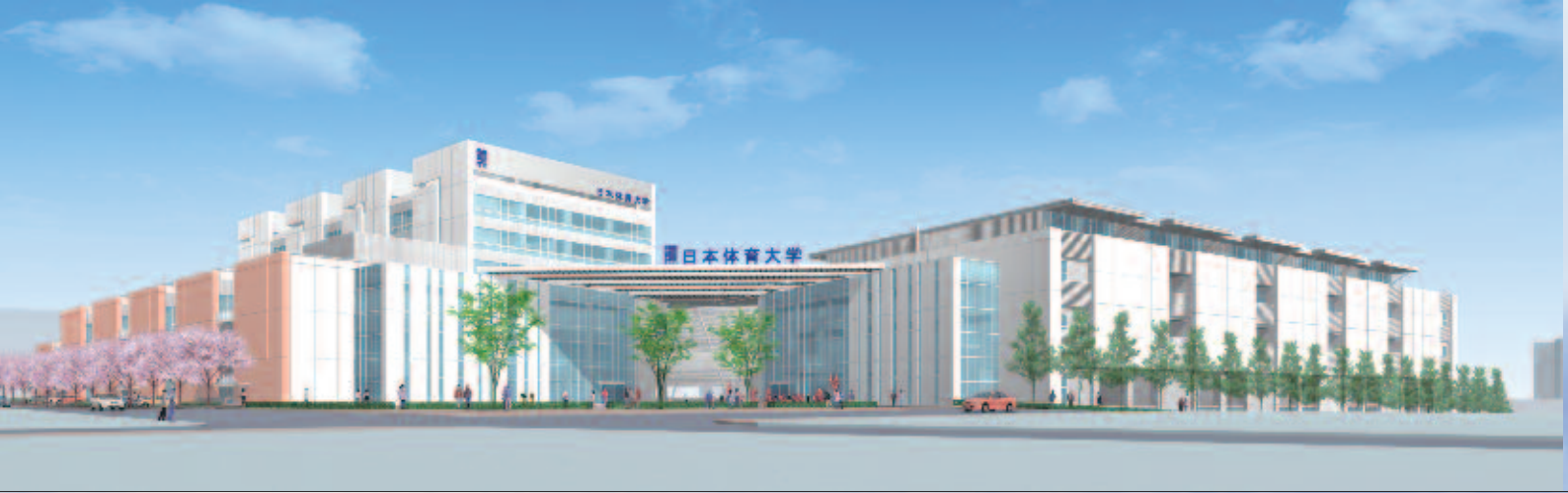
##### 2 短期大学部の認証評価

認証評価機関である短期大学基準協会の評価を受審する。平成21年度に実施した自己点検・評価報告書を6月末までに提出し、9～10月の間に現地調査（現地調査）を経て、年度内に評価結果の通知を受ける。

##### 3 全学ネットワーク環境の充実

東京世田谷キャンパス再開発第2期工事の竣工後、遺漏なく既存サービスの安定的運用が図れるよう、各種システムのブラッシュアップを実施するとともに、各事務部門の業務支援を実施して、業務への効果的なICT (Information and Communication Technology) の適用を推進する。また、次期基幹業務システム（教学系システム）を継続検討し、導入計画を構築する。さらに、事務局で使用している通常プリンタ機器の劣化現象に対応すべく、次世代環境構築の検討に着手する。





## (4) 全学的広報戦略

本学の持つ独自性並びに教育研究による成果等を幅広く社会に発信するために、ホームページの運用効率を高め、学内外への広報活動の充実を図る。プレスリリースを始めとしたメディアを活用しての広報展開を活性化し、本学のブランドイメージの向上を図る。また、質の高い有為な学生の獲得に繋げるため、全学体制による学生募集活動に移行するとともに、アドミッションセンターと連携し、昨年度より拡大したAO入試の実施の検証を適切に行い、推薦入試及び一般入試等と併せて学生募集活動を強化する。また、キャリア支援センターとも連携し、就職支援の一環として、就職状況及び卒業生の紹介を積極的に行うなど、入口から出口までの接続の体系化を図る。

## (5) 大学改革の推進

大学、短期大学部ともに社会人基礎力に関する科目が導入され、新たな教育課程が展開される。大学では、2009カリキュラムの学年進行に伴い、4学科11専攻のカリキュラムの展開に留意し、短期大学部では、2010カリキュラムが新たにスタートすることを踏まえ、適切な教育方法及び教育環境の充実に努める。大学院では、大学改革11構想に基づき、博士前期課程について、平成23年度の改組・再編の実現に向けて構想の熟度を高め、所要の手続きを進める。また、平成22年5月の再開発第2期工事の竣工に伴い、移行期の対応がなされていたアドミッションセンター及びキャリア支援センターについて、それぞれ附置機関として機能が果たせるよう組織の改編を実施する。

## (6) 学生支援の充実

証明書発行業務を担っている証明書自動発行機(パピルスメイト)の部品保有期間が終了することに伴い、東京・世田谷キャンパス及び横浜・健志台キャンパスに各2台、新機種を導入する。さらに、学生相談の増加及び内容の多様化に対応するため、学生相談カウンセラーの増員等により、質の高い学生相談の充実を図る。併せて、学生に対する防犯及び薬物乱用防止等に関する各種の啓発活動や自転車・バイクの交通ルール講習会等を積極的に推進する。

## (7) 健康管理対策の充実

学生及び教職員の健康管理を高いレベルで維持するため、産業医、学校医、保健師等との連携の強化を図る。昨年度に流行した新型インフルエンザに対する対応を踏まえ、学内における危機管理体制の確立に努める。また、感染症や生活習慣病、その他疾病に関わる専門家による講習会やAEDの使用講習会等を開催し、予防策や緊急対応の啓発活動を推進するとともに、近年増加傾向にある心の病に対応するため、心療内科医師による相談日数の増加を図る。

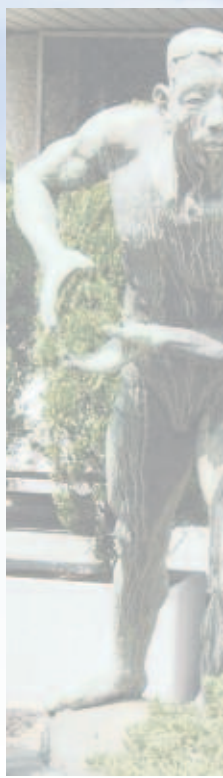
## (8) 募金活動の実施

平成21年6月から開始した日本体育大学東京世田谷キャンパス再開発事業の第2期及び第3期工事に反映可能となる募金活動については、今年度も引き続き広く寄付金を募る。

## (9) 不祥事の再発防止

学生・教職員の不祥事防止のため、多様化する学生に対して、①モラル向上啓発の取組みのため、チラシの作成・配布。②学生寮、運動部合宿所の生活指導の強化。③授業、ホームルームにおけるモラル向上教育の実施。④清掃活動による意識改革活動の実施等により、社会的規範の啓発活動を行う。

教職員については、「危機管理委員会」及び「学生教育及び生活に係る教職員の役割に関する検討部会」の設置により、①研修、シンポジウムの開催。②「教職員心得を決定・作成し携帯を義務付ける等」、「私学人」として自己の能力、及び人格の向上に努め、法令違反等不正行為の早期発見と是正に向け、組織内の内部統制とコンプライアンスの強化を図るとともに、リスク管理体制の構築を目指す。



## 体育が苦手な子どもにも 運動を楽しんでもらえる教員に



スポーツに関わる仕事に興味を持っていました。ただ最初は、あくまで漠然とそう考えただけでした。具体的にイメージできるものとして、真っ先に想い浮かんだのが体育教員です。AO入試では、現代の子どもたちの現状と体育教員の抱える課題について分析し、アピールしました。

体育学部 体育学科入学

都築 大介さん

東京大学教育学部附属中等教育学校出身

# 新日体生が語る 夢、希望、挑戦

## なんですか？



## 歌って踊って 走れる保育士が目標

短大幼児教育保育科入学

樋口 匠子さん

千代田区立九段中等教育学校出身

体育が好きで、スポーツトレーナーなどの職業にも興味はありましたが、高校2年のインターンシップで幼稚園に派遣され、もともと子どもが好きだったこともあって「これだ」と思い、子どもと直接関わる仕事にシフトしていきました。子どもの身体・発達・心理などの勉強もおもしろそうだと思います。将来の夢は、「歌って踊れて、走り回る保育士」です(笑)。

今年度はAO入試拡大初年度の新入生が加わり、今まで以上にユニークな個性が集まった。アスリートとして競技力を磨きたい、高校教員になりたい。新入生たちの思いはさまざま。実り多い4年間を過ごして欲しい。抱いている夢、希望、大学生活への期待を新入生に語ってもらった。



## 生徒の気持ちに まっすぐ向き合う教員に



夢は明治神宮大会で  
優勝すること

体育学部 体育学科入学  
硬式野球部

佐藤 涼平さん

花巻東高等学校出身

首都大学リーグで常に優勝争いをすること、そして日本一を決める明治神宮大会での優勝です。個人の活躍というよりも、どうすればチームが勝てるのかを考えることが出来る選手になりたいです。周囲の方への感謝の気持ちを忘れず、卒業まで野球に真剣に取り組んでいきたいと思っています。

小さい頃からクラシックバレエ、空手などいろいろなスポーツをしてきました。中学・高校時代はバスケットボール。自分の経験を社会でどうしたら活かせるかと考えた時、高校教員という道が浮かびました。今までお世話になった先生方のように、生徒に情熱を持って接することができる教員になりたいです。

体育学部 体育学科入学

加藤 千緩さん

横浜市立南高等学校出身



## 将来の夢は

体育学部 武道学科入学  
剣道部

宮島 望さん

県立新潟商業高校出身

夢は剣道で大学日本一になること。日体大は昨年、インカレで全国2位ということで、日々の練習をしっかりとやれば道は見えてくるはず。また、平成24年度から中学校で武道教育が導入される予定なので、中学校の教員にもなりたと思います。生徒を信じ抜くことのできる教員が理想です。

夢は大学日本一と  
中学で剣道を教えること







樋口 匠子さん

Shoko Higuchi

#### 日体大を選んだ理由

高校3年の体育大学受験希望者向けの選択科目で、外部からお招きした講師の先生から日体大の幼児教育のよさを強く勧めていただきました。私自身にとっては、部活動でやっていたバドミントンを含めた体育全般が大好きなので、保育において運動遊びのノウハウが充実している点も日体大の魅力です。あと、箱根駅伝での応援のパフォーマンスを見て、「私もあのノリのなかに入って楽しみたい」と思うようになりました。友人の間でも、体育会系のノリのイメージが強く、日体大に入学することについて「気合い入っているね」「チャレンジャーだね。でも、匠子らしいかも」などと声をかけられましたね。

#### 日体大でがんばりたいと思っていること

友人をつくることと、保育士に必須のピアノの練習です。友人については、地元の中高一貫校に進学したため、違う地域の友だちがいないので、日体大でいろいろな経験を持つ人と出会って刺激を受けたいと思います。ピアノは、弾いて歌いながら、さらに子どもたちの様子も見なければいけないので大変です。練習が厳しいことは、AO入試でも試験官の先生から伺っていますので、がんばります。



都築 大介さん

Daisuke Tsuduki

#### 日体大を選んだ理由

受験を考えた始めた高校2年の冬くらいから、スポーツに関わる仕事や勉強に興味を持つようになりました。そこで、高校の体育の井口先生が日体大ご出身ということでお話を伺ったのですが、特に社会に出たときのOB・OGとの繋がりやの深さと広さにひかれました。他大でも、スポーツ系の学部や学科を新設する傾向がありますが、伝統に裏付けられた卒業生の実績や人脈では日体大におよびません。

また、私が受けたAO入試は、定員が少なく難しい入試だという印象がありました。そこで自分をうまくアピールして合格できたなら、その縁を信じてみるのもいいかなと思いました。



#### 日体大でがんばりたいと思っていること

教員採用試験に合格し、体育教員になるための勉強を重視したいと思っています。中学1年から続けてきたテニスは、日体大に通いながら母校のコーチをするなどして続ける予定で、大学で部に入ると勉強との両立が少し厳しそうなのが悩んでいるところです。とにかく体育教員になることが第一の目標。そしてさらに、体育を楽しめる子どもはもちろん、体育が苦手な子どもでも運動を楽しめるような指導ができる体育教員になりたいと思っています。

だから日体大を選んだ。

四年間、全力でがんばりたい！

新日体生が語る 夢、希望、挑戦

新入生  
メッセージ





宮島 望さん

Nozomi Miyajima

#### 日体大を選んだ理由

日体大の剣道を見て、基本に忠実で大きく美しい、その剣の型に憧れて入学を決意しました。剣道は、警察官の父がやっており、その影響で兄たちがはじめて、私も小学2年から剣道をはじめました。全国中学大会で団体優勝、高校の全国選抜大会では3位と結果を出し、新潟国体では強化指定選手として、団体戦の大將を務めることも決まっていた。しかし、直前にアキレス腱断裂の重傷を負い、欠場することになり非常に悔しい思いをしました。だから日体大では優勝したいです。また、今年から日体大剣道部の監督になる新里先生には、新潟国体の練習でお世話になっており、その指導法や剣技などにも魅力を感じています。



#### 日体大でがんばりたいと 思っていること

はじめての寮生活をするようになりますし、新しい生活には期待も不安もあります。また、剣道部の練習が大変なことも分かっているつもりですが、ただ、もう「やるしかない」という気持ちです。勉強に関しては、「武道の歴史を学んだりのかなあ」、くらいの漠然とした印象しかありませんが、これから詳しく学びたいと思います。もちろん、教員を目指していますので、部活だけでなく勉強にも力を入れて、しっかり両立させることが目標です。



佐藤 涼平さん

Ryohei Sato

#### 日体大を選んだ理由

これまで自分を指導してくださった先生方に影響を受けたことで、自分も教員を強く志望するようになりました。そこで高校時代の恩師に相談したところ、日体大への進学を勧められました。もちろん、卒業後に実業団やプロで野球を続ける可能性も教員免許取得と同時に追求していくつもりです。目指す教員像としては、体育指導だけで終わるのではなく、自分の恩師同様に関わった生徒たちの「人生の師」となれるような存在になりたいです。大学生活はこれまでと比較すると生活スタイルが少し変化すると思いますが、常に行動の優先順位を付けることで野球と授業の両立を目指していきます。



#### 日体大でがんばりたいと 思っていること

野球においては自分のアピールポイントである、守備や走塁そして自分の最大の武器である“ファウル打ち”（ストライクゾーンにきたボールをわざとファウルにして、打球数を増やす）に磨きをかけていきたいです。また授業では心理学や解剖学など、野球につながるような科目には興味があります。それと教員免許以外にもさまざまな資格取得にも挑戦したいと考えています。社会に必要とされるような人材となるべく、常に自分を律した生活を心掛けたいです。



加藤 千緩さん

Chihiro Koto

#### 日体大を選んだ理由

体育の教員と言えば日体大。自分の中で自然とそういう意識がありました。オープンキャンパスで、先輩からAO入試があることを教えられた時、絶対受けたいと思って、それから急いで課題の論文を書き上げました。部活の顧問もやってみたいと思っていて、コーチングなど実技指導のカリキュラムが充実しているのが魅力でした。私自身、高校の部活ではケガが多く、選手の体やメンタル面のケアについてももっと学びたいと思っています。「荏原体育」「ラベンダー体操」など、伝統を感じさせるパフォーマンスも楽しみ。習得したらビデオに収録して後輩に教えて欲しいと、高校の先生に頼まれているんです(笑)。

#### 日体大でがんばりたいと 思っていること

まずは教員になるための勉強。人並み以上に努力して、現役合格を目指したいです。もちろん知識や技術ばかりでなく、日体大の伝統的なスピリットもしっかりと身につけたい。クラブはまだ決めていませんが、トップアスリートのオーラにも触れてみたいし、全



国から集まる友達と仲良くなりたいと思っています。私は地元出身の横浜っ子。スポーツを通して地元の人と交流できるような活動にも参加してみたいですね。



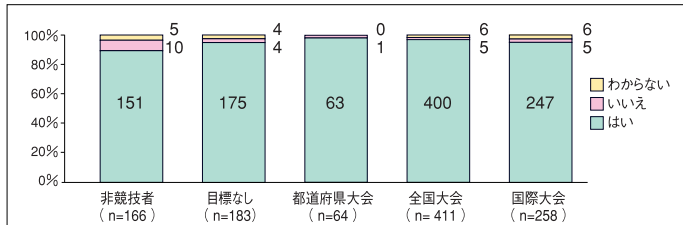
# 競技力と食生活 — 食生活と競技力はある関係がある？

## 2) 食事に対する意識

### ① 食事の競技に対する影響

競技の有無、将来の競技目標レベルに関わらず、『食事が競技力に影響すると思うか』という質問に対し、ほとんどの学生が「はい」と回答しました。

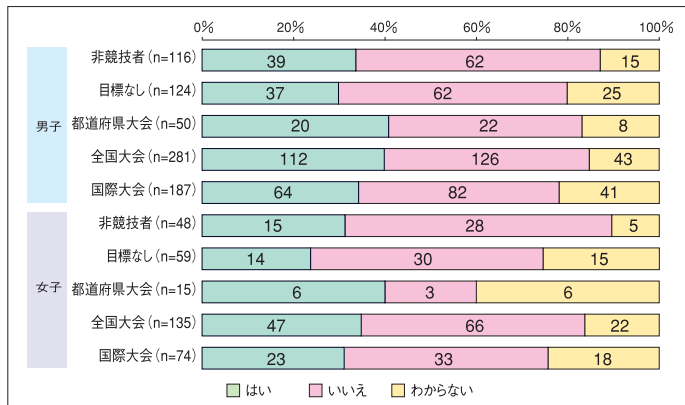
◆図2 食事が競技力に影響すると思うか（競技目標レベルでの比較）



### ② 普段の食事に対する意識

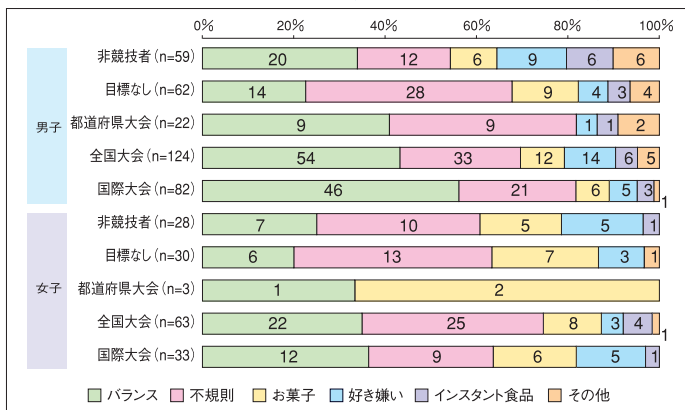
「普段、適切な食事をしていると思いますか」という問いに対し、『適切な食事をしている』と思う学生は50%に満たず、競技目標レベルでみると、非競技者と目標なしで『いいえ』が多く、都道府県大会、全国大会、国際大会では、競技目標レベルが高くなるほど『はい』という回答が少ない傾向にありました(図3)。

◆図3 普段、適切な食事をしていると思うか（競技目標レベル、性別での比較）



また、『適切な食事をしていない』と答えた場合、『栄養バランスが悪い』、『食事の時間が不規則である』が理由として多く、特に男子では、競技目標レベルが高くなるほど『栄養バランスが悪い』ことを理由として挙げている傾向にありました。また、競技目標レベルに関わらず、女子は男子より『お菓子などの間食が多い』ことを理由に挙げる学生の割合がやや多い傾向にありました(図4)。

◆図4 普段の食事が適切でないと思う理由（競技目標レベル、性別での比較）



### コメント

非競技者、競技者に関わらず、競技力に食事が影響すること、バランスの良い食事や規則正しい食事が大切なことが理解できていますが、行動としては伴っていない状況であることが分かりました。食事が不規則なことを理由に挙げる学生も多く、特に部活動に所属する新入生は不慣れな点などがあり、通学時間など、ライフスタイルをふまえた食生活の工夫を行うことが重要であると思われました。

2009年度から新入生を対象に『体育・スポーツ科学入門』が開講されました。『体育・スポーツ科学入門』は、新一年生に体育・スポーツの分野における様々なトピックに触れることを目的としており、新入生導入プログラムの一つに位置付けられています。

特にその中で、“スポーツと栄養—食事で競技力をのばす—”というタイトルのもと、競技活動における栄養摂取の重要性を導入する講義が実施されました。本学学生にはトップアスリートのみならず、体育教員といった指導者やアスリートを支えるアスレティックトレーナーなどを志す学生も多く、適切な栄養教育が行われることが重要です。その講義の導入としてスポーツ局管理栄養士の協力を得て食意識調査を実施しました。調査結果からうかがい知れる日体大新入生の入学時における食生活や食意識の傾向についてご紹介します。

2009年度『体育・スポーツ科学入門』

「スポーツと栄養」講義担当者：井川正治、木村直人、鈴川一宏、中里浩一、花原勉、山田保文  
文責：運動生理学研究室 中里浩一、スポーツ局 安達瑞保

## 方法

### 1) 対象

体育・スポーツ科学入門第13講「スポーツと栄養の授業」に出席した新入生1138名のうち、アンケートに回答した新入生の男女1104名(表1)について集計しました。

◆表1 アンケートに回答した新入生学科別男女内訳

|    | 体育学科 | 健康学科 | 武道学科 | 社会体育学科 | 合計   |
|----|------|------|------|--------|------|
| 男子 | 490  | 93   | 75   | 111    | 769  |
| 女子 | 173  | 88   | 33   | 41     | 335  |
| 合計 | 663  | 181  | 108  | 152    | 1104 |

### 2) 調査方法

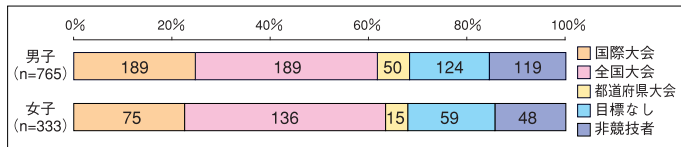
対象者に調査に関する説明を行った後、①将来目指している競技レベル、②食事の競技力への影響、③適切な食事をしているか、④体型について、⑤朝食摂取頻度、⑥食行動変容ステージ(野菜、果物、鉄を多く含む食品、1日3食、バランス、多くの食品、好き嫌い、乳製品、お菓子、食べすぎ)、⑦摂取頻度(主食、肉・魚・卵、豆製品、果物、海藻・きのこ、ジュース、お菓子、緑黄色野菜、淡色野菜、野菜ジュース、牛乳)、⑧水分補給、⑨サプリメント、⑩アンチドーピング、⑪体重測定、⑫学食利用頻度、⑬体調(口内炎、風邪、ケガ、排便、集中、食欲、疲れ、練習きつい、疲れ残る、日中眠たい)についてマークシートを用いて自己記入式で調査を実施しました

## 結果

### 1) 将来目指している競技レベル

将来の目標レベルとして、プロ・オリンピックなどの国際大会レベル(以下、国際大会)、全国大会レベル(以下、全国大会)、都道府県大会レベル(以下、都道府県大会)、競技をしているが目標がない(以下、目標なし)、競技をしていない(運動部に所属していない、以下、非競技者)、の中から選択してもらったところ、男女ともに全国大会レベルを目標とする学生が最も多いという結果になりました(図1)。

◆図1 将来の競技目標レベル(性別での比較)



### コメント

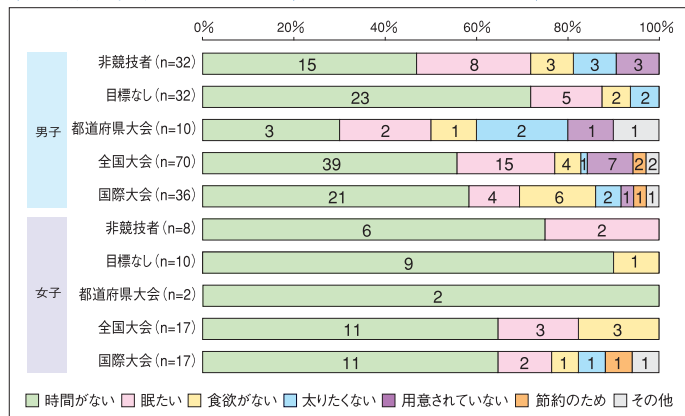
新入生の80%が競技者であることは、体育系大学である本学の特徴であり、全国大会と国際大会を目指す学生が60%を占めていたことから、競技におけるトップレベルの学生が多く集まっていることや、競技目標が明確な学生が多く集まっていることが示唆され、本学の特徴が明確に表れる形になりました。



# 2009年度日体大1年生の栄養調査とその実態

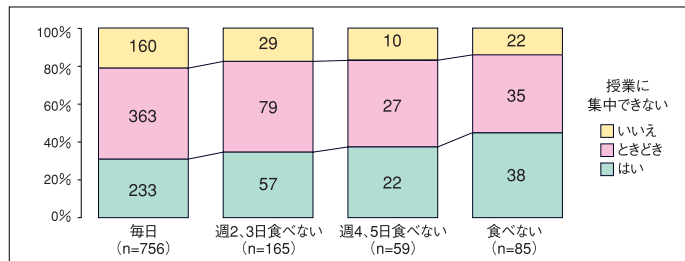


◆図7 朝食を毎日食べていない理由（競技目標レベル、性別での比較）



また、『毎日食べている』以外を選択した学生に、朝食を食べていない理由を質問したところ、男女ともに競技レベルに関係なく、『時間がない』という回答が最も多い結果となりました。また、女子にはみられなかったのですが、男子では『用意されていないから』という回答もみられました。（図7）。

◆図8 朝食の摂取頻度と授業への集中度



朝食の摂取頻度と体調についてみると、朝食の摂取頻度が低いほど、「口内炎ができる」、「授業に集中できない（図8）」という設問で『はい』という回答が多く、「食欲がない」、「だるさや疲れやすさを感じる」、「疲れが翌日まで残る」頻度も高い傾向にありました。



## コメント

平成21年2～3月にインターネットを利用して実施された全国四年制大学の大学生を対象とした「大学生の食に関する実態や意識についてのインターネット調査（内閣府食育推進室）」では、1年生のうち、毎日朝食を食べているのは67.1%であったのに対し、本学の新入生は70.6%と全国調査の結果とあまり変わらない傾向にありました。

男子の非競技者で特に食べていない傾向にあり、『時間がない』という理由が多かったことから、自炊など食環境も影響していることが考えられます。また、全国大学生調査では夕食が遅いと朝食をとらない傾向にあり、今回の調査結果から、住居環境や食環境、就寝時間について設問を設けていませんでしたが、今後はこれらをふまえて食教育を行うことが望ましいと考えられます。

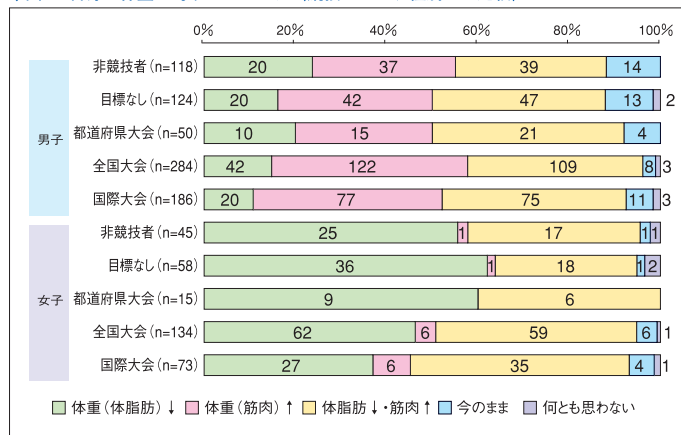
朝食の摂取頻度が低い学生ほどだるさや集中力の低下を訴える傾向にあり、朝食の摂取頻度を上げることが学生の健康維持のために必要と考えられます。そのためには、学生の食意識向上を図るだけでなく、多角的な取組が重要であると思われます。

## 3) 体型に対するイメージ

男子は、体重（体脂肪）を減らしたい学生が占める割合がもっとも多かったのは非競技者でしたが、競技の有無、競技目標レベルに関わらず、体重（筋肉）を増やしたい、または体脂肪を減らして筋肉を増やしたいと考える学生がそれぞれ70%以上を占め、競技目標レベルが上がるほど、体重（体脂肪）を減らしたい学生は少なくなりました。

女子は、男子よりも体重（体脂肪）を減らしたい学生が多く、非競技者および目標なし、都道府県大会では50%以上を占めました。競技目標レベルが上がるほど、体重（筋肉）を増やしたい、体脂肪を減らして筋肉を増やしたいと考える学生が多い傾向にありました（図5）。

◆図5 自身の体型に対するイメージ（競技レベル、性別での比較）



## コメント

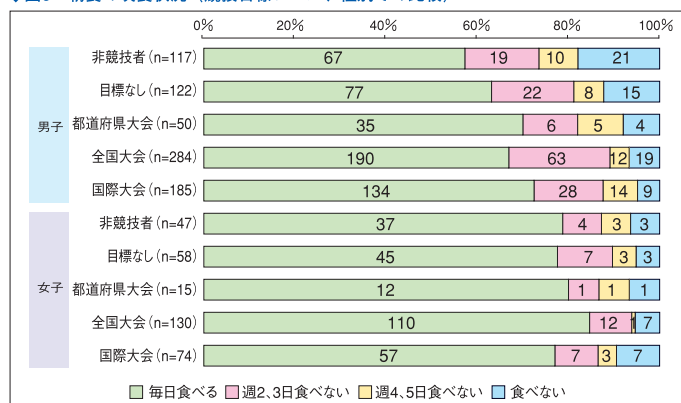
体型に対するイメージには、明らかな男女差がみられました。男子は女子に比べ、単純に体重を減らしたいと考える学生よりも、筋肉を増やし体脂肪は減らしたいと考えている学生が多く、体重ではなく筋肉や体脂肪を意識していることが示唆されました。

女子は筋肉を増やしたいと考えている学生はほとんどみられず、筋肉に対する意識よりも体重や体脂肪を減らしたいと考えている学生が多いことが考えられます。しかし、体重を減らしたいと考えている学生が、実際に減らした方がよいのかについては不明です。やせ志向に偏らず、適した体づくりが意識できるよう、性別による特徴をふまえて食教育を実施することが必要と思われます。

## 4) 朝食の喫食状況

男女で比較すると、女子の方が毎日朝食を食べている学生の割合はやや多い結果になりました。また、女子では競技目標レベルによる朝食の喫食状況に差はみられませんが、男子では非競技者で喫食率が低く、ほとんど朝食を食べていない学生が約20%を占めました（図6）。

◆図6 朝食の喫食状況（競技目標レベル、性別での比較）



# XXI Olympic Winter Games

第21回オリンピック冬季競技大会(2010/バンクーバー)

## 世界へ向けてさらなる飛躍を

冬季五輪史上最多となる82の国と地域から約2600名の選手が参加した「第21回冬季オリンピック競技大会(2010/バンクーバー)」が閉幕した。本学関係者は本橋麻里選手(カーリング)、皆川賢太郎選手(スキージャンプ)、佐々木明選手(スキージャンプ)が参加。また、日本スピードスケート史上最年少で出場した高木美帆選手のコーチとして櫻井知克氏が大会を支えた。残念ながら十分な力を出し切れなかったが、日本の冬季五輪に新風を吹き込んだことは間違いない。次回ソチへ向けて、さらなる飛躍を期待したい。

### カーリング <sup>もと</sup><sup>はし</sup> <sup>ま</sup><sup>り</sup> 本橋 麻里 選手

体育学部 体育学科3年

バンクーバーオリンピック期間中、大学関係者の方々から多くのご声援を頂き、ありがとうございました。この度のオリンピックでは、8位入賞という悔しい結果での帰国となりました。

世界の壁の厚さを痛感し、悔しさの残る大会となりましたが、皆様からの応援を背に、胸を張りアイスへと立つことが出来ました。そして、チームで戦い抜いたバンクーバーオリンピックは、ささやかな経験と財産になりました。この経験を次につなげる為に、これからも精進して練習に励みたいと思います。

本橋 麻里

### アルペンスキー <sup>みな</sup><sup>がわ</sup> <sup>けん</sup><sup>た</sup><sup>ろう</sup> 皆川 賢太郎 選手

体育学部 体育学科出身 竹村総合設備スキークラブ 所属

選択肢が少ない試合でしたが、少なくとも自分が選んだ作戦に悔いはありません。私ができるメダルへ一番近い選択を実行した事へは嘘は無い。

この4年間、2度目の怪我でも私を見放さず応援してくださった学長はじめ日本体育大学の皆様への思い、応援してくださった方々への思い、今は本当に感謝しています。

日本体育大学で過ごした時間が今も私を強くしています！本当に大きな経験をさせて頂いた事へ感謝しています。

今後、私が出した選択肢を皆様が共感できた時また応援して頂けたら幸いです。本当に、本当に、ありがとうございました。

皆川 賢太郎

### アルペンスキー <sup>さ</sup><sup>さ</sup><sup>き</sup> <sup>あ</sup><sup>き</sup> 佐々木 明 選手

体育学部 体育学科出身 EMUSI所属

ソルトレイクオリンピック、トリノオリンピック、そして今回3度目のオリンピック、バンクーバーオリンピックが終了しました。結果として18位という数字は、決して自分に充実感を与えてくれる数字ではありません。ただ、ここまでの4年間は充実していたと自信を持って言えます。ヨーロッパのオーストリアに拠点を移したのが日体大に在籍していた1年生の終わり。それから今まで最高の環境でトレーニングを積んできました。これからもオーストリアでの生活はずっと続けて、また次のオリンピックもメダルだけを狙ってやっていきます。

世界で戦う事は、とても刺激的な事ばかりです。日体大の皆さんも、進む道は違っても世界で活躍出来る事は、最高に刺激的な事なので是非世界に目を向けて欲しいと思います。応援ありがとうございました。心から感謝です。近い未来皆さんの前で話をする機会があれば、オリンピックや海外での生活の話に飽きる程だと思います。

ちなみにスポーツ医学教授の山本 郁榮は義理の父です。オリンピックでも現地ではテーピングから食事全てにおいてサポートしてもらいました。

佐々木 明



© PHOTO KISHIMOTO



© PHOTO KISHIMOTO



© PHOTO KISHIMOTO



# VANCOUVER 2010

大会は2月12日から28日の17日間。日本選手団は、94名が6競技61種目に参加。銀メダル3個、銅メダル2個、入賞26と前回トリノオリンピックを上回る結果を残した。特に、フィギュアスケート、スピードスケート勢の活躍が大会に華を添えた。浅田真央選手との宿命対決に勝利したキム・ヨナ選手をはじめとする韓国・中国の活躍も目覚しい。2014年のロシア・ソチ大会に向けて、チームジャパンの一層の競技力向上が期待される。

## 応援ありがとうございました。

大会中の2月22・23日の両日、本橋麻里選手の出場にあわせて、東京・世田谷キャンパス学生食堂にて応援会が開催された。学友会総務部・応援部を中心として企画されたもので、200名を超える学生が参加。大画面に本橋選手の姿が映し出されると、会場は大きな声援に包まれた。熱い思いはバンクーバーへ届いたに違いない。



一投一投に歓声があがる

### 出場選手の結果・記録 (日体大関係者)

- カーリング女子 本橋麻里 (体育学科3年/NTTラーニングシステムズ) 8位
- スキー (アルペン) 男子回転 佐々木明 (EMUSI) 18位 1分41秒76
- スキー (アルペン) 男子回転 皆川賢太郎 (竹村総合設備) 途中棄権

## VANCOUVER 2010 パラリンピック冬季競技大会

3月12日から10日間、44か国・地域から約500名の選手が参加。日本勢は金3個を含む、過去最高のメダルを獲得。小池選手もトリノ大会を上回る好結果を残した。

### アルペンスキー

#### 小池 岳太 選手

体育学部 社会体育学科出身  
セントラルスポーツ所屬



© PHOTO KISHIMOTO

- 男子スーパーコンバインド (カテゴリー：スタンディング) 13位 2分22秒67
- 男子スーパー大回転 (カテゴリー：スタンディング) 9位 1分25秒29
- 男子ダウンヒル (カテゴリー：スタンディング) 12位 1分26秒31
- 男子大回転 (カテゴリー：スタンディング) 棄権
- 男子回転 (カテゴリー：スタンディング) 18位 1分53秒23



### スピードスケートコーチ

#### 櫻井 知克士 さん

体育学部 体育学科出身  
緑園中学校教員  
帯広スケート連盟所屬

### 高木美帆活躍の陰に日体大あり!

この度、2010バンクーバーオリンピックスピードスケート日本代表として、若干15歳で出場した高木美帆に対し、温かいご声援をいただきありがとうございました。

今回、活躍した高木美帆は素晴らしいご両親に育てられたからであることはもちろんですが、今回の大躍進の影には秘密があります。それは、日体大の卒業生達の存在です。彼女の通う北海道幕別町立札幌内中学校では、学級担任、スケート部顧問、サッカー部の顧問が全て日体大の卒業生。そして、十勝中体連スピードスケートクラブとして高木の指導に直接関わらせていただいた私も、日体大卒業です。なんと、彼女のお兄ちゃんまで日体大 (現2年) に在学中です。私生活から、学校生活、部活動に至るまで日体大卒業生のきめ細かな指導や連携により、日々中学生として力をつけ、結果的に部活動でも大きな力を発揮しました。

このように、多くの日体大卒業生に囲まれて成長した、高木美帆というスケート界の宝をこれからも見守ってください。

櫻井知克士



# 新教育研究棟・体育館棟完成迫る！ 東京・世田谷キャンパスが生まれ変わる

新入生の皆さんの入学とあわせて、東京・世田谷キャンパスがさらに進化します。

大学機能の中核となる新教育研究棟（地下2階・地上6階）、

体育・スポーツの発信基地となる体育館棟（地下2階・地上3階）が5月に完成。

学生の皆さんへのサービス向上はもちろんのこと、環境、地域の方々との交流にも配慮し、

新しいキャンパスのスタイルを具現化しています。

第三期工事は2011年11月に完成します。

充実した設備を存分に活用し、有意義な大学生活を送ってください。

2010年5月 第二期工事竣工



2009年12月

## 体育館棟



2009年10月

- 3F 仮設フェンシング場  
準備室 部室
- 2F メインアリーナ  
(バスケットボール・バレーボール・バドミントン)  
小体育館9 (トランボリン場)  
小体育館10 (ボクシング場)  
部室
- 1F トレーニングセンター  
小体育館2 (レスリング場)  
小体育館3 (ダンス・伝統芸能場)  
小体育館4 (薙刀・エアロビクス場)  
小体育館5 (空手場) 小体育館6 (合気道場)  
小体育館7 (少林寺拳法場) 部室 準備室
- GF 小体育館1 (相撲場) 相撲準備室  
部室
- BF 中体育館1 (剣道場) 剣道準備室  
中体育館2 (柔道場) 柔道準備室  
中体育館3 (徒手体操・器械体操) 体操準備室  
更衣室



BF 中体育館2 (柔道)



BF 中体育館3 (徒手体操・器械体操)

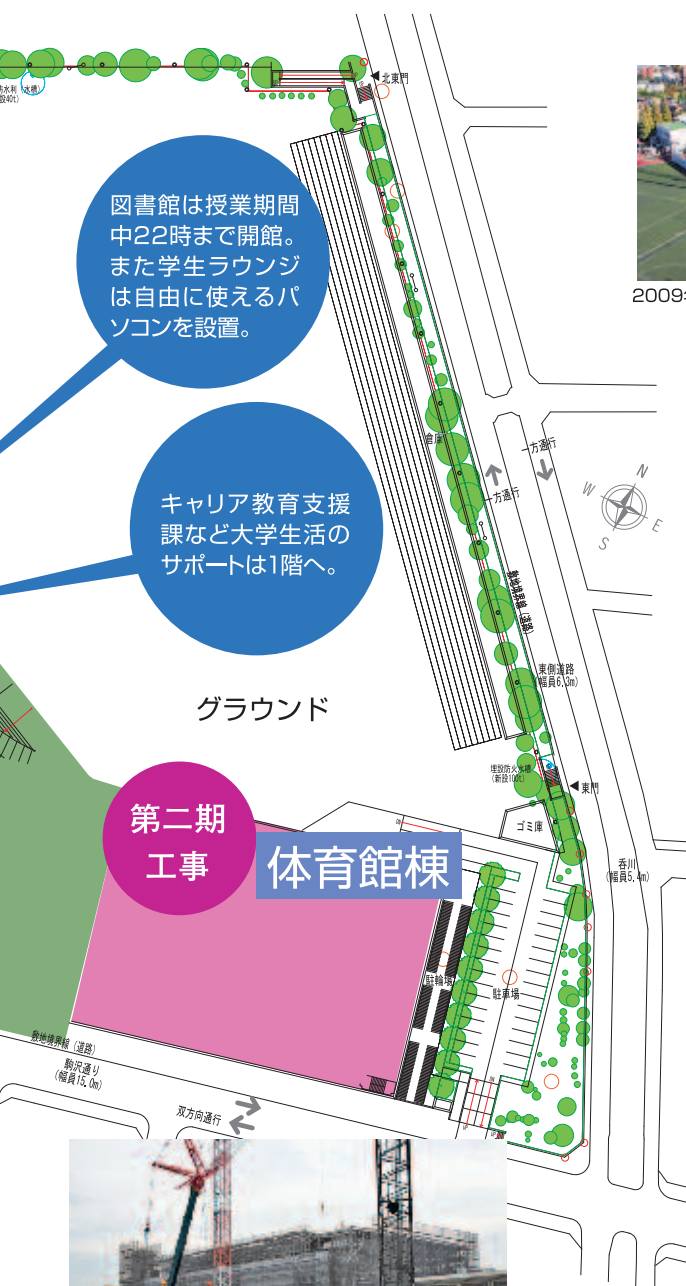


1F トレーニングセンター



2F メインアリーナ

メインアリーナは様々なスポーツ大会を行う広さがあり、式典等にも対応可能な設備を設置。上部には走路も完備されている。



2010年2月





東京・世田谷キャンパス航空写真(2010年3月5日撮影)

## 教育研究棟



2009年5月



1F エントランスホール(教室・事務管理棟)



BF・GF 記念講堂



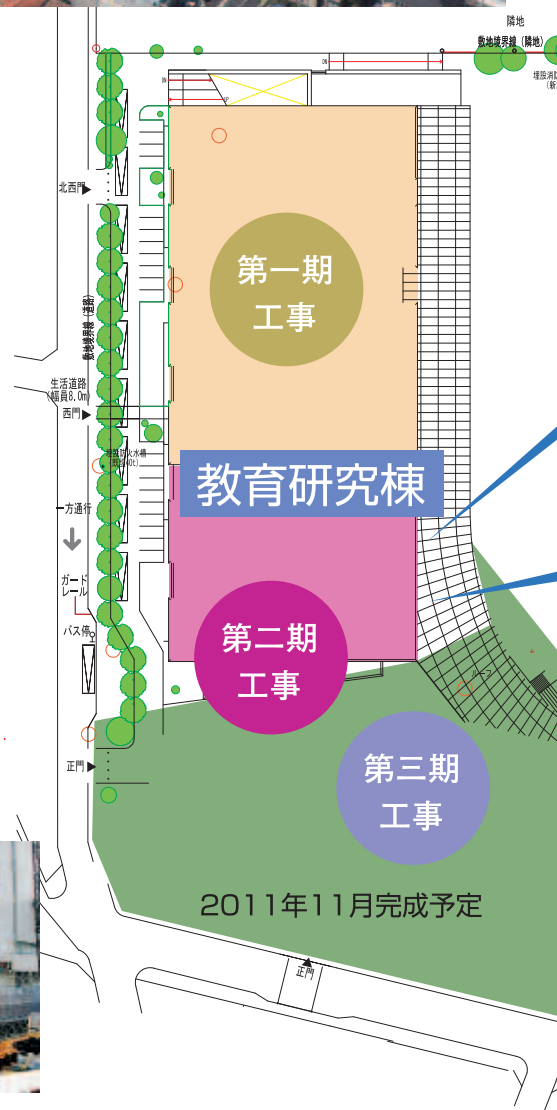
3F 図書館

### 第Ⅱ期 エリア

|    |                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6F | 法人・大学事務局                                                                                       |
| 5F | 1501～1511研究室<br>1514～1517研究室<br>1520～1525研究室<br>1513助手研究室 1519助手研究室<br>1512セミナールーム 1518セミナールーム |
| 4F | 1401～1414研究室<br>1417～1420研究室<br>1423～1431研究室<br>1416助手研究室 1422助手研究室<br>1415セミナールーム 1421セミナールーム |
| 3F | 1301教室(200人) 1302教室(200人)<br>図書館                                                               |
| 2F | 1201教室(200人) 1202教室(200人)<br>図書館                                                               |
| 1F | エントランスホール ラウンジ<br>学務課 学生生活課 学務部ホール<br>キャリア支援センター<br>みずほ銀行ATM                                   |
| GF | 記念講堂(固定席)<br>ロッカー管理室 トレーナー室<br>健康管理センター<br>クラブハウス(アメリカンフットボール)<br>更衣室 シャワー室                    |
| BF | 記念講堂(可動席) 記念講堂控室<br>ミーティングルーム1～5                                                               |



2009年10月



2010年3月



## スポーツシンポジウム

# 『スポーツの中の社会的常識』

2010年2月20日 国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催

学友会クラブ・サークルの代表者が集い、リーダーの育成と体育人としての意識向上を図るリーダーズキャンプ。今年、スポーツマンとして必要な倫理観や、社会貢献の意義などについて有識者の方々に集まりいただき「スポーツの中の社会的常識」をテーマにディスカッションを展開していただいた。

コーディネーター

堀尾 正明氏

スポーツジャーナリズムに携わる者として、日体大は眩しい限りの存在です。その期待の現われとして、日体大生の行動は常に社会の注目を集めています。

昨年、マスコミにも取り上げられた二連の出来事が起こりましたが、今あらためて、スポーツマンシップとは何か？日体大は何をすべきかについて皆さんと考えてみよう、バネリストの方々にお集まりいただきました。

スポーツを通して、多くの人に感動をプレゼントできるのは皆さんの特権です。ぜひ、このシンポジウムを機会に、コミュニケーションを密にして、心技体ともに一流のアスリート指導者を目指して欲しいと思います。



堀尾 正明 (ほりお まさあき)  
1955年生まれ 岡山県出身  
日本体育大学客員教授  
フリーアナウンサー  
NHK「サタデースポーツ」「サンデースポーツ」キャスター、また日韓W杯、アテネ五輪、トリノ五輪現地キャスターを務める。2008年フリーとなり、現在も北京五輪中継番組等、さまざまな分野で活躍している。



バネリスト

小林 節氏

## 自らの力で変わり始めた日体大に期待

スポーツマンは健康である。秩序を大事にする。自制心がある。私は非常に良いイメージを持っています。

果たしてそれが、昨今の日体大の中で十分に醸成されてきたか。昨年の出来事は論外ですが、学内に緩みがあったことも事実です。

高校ではその種目の一番。ところが、日体大に入学したら普通の選手。優れた競技力を持つ先輩もたくさんいます。皆さんに戸惑いがあることも確かでしょう。また、それをフオーレきれていない教育の問題もあります。

ただ、こうした問題にすぐに反応したのも日体大なのです。教職員の方々、学生の中に自主的に改革しようという気運が生まれ、これから大きく変わっていくと思います。清掃や地域ボランティアに取り組む学生。標語を提案し学内啓発を図る学生。その気持ちは本物で、胸を打つものがありました。

皆さんにはぜひ誇りを持って欲しい。そうすれば自然と人にも折り目正しく接するようになるし、何より自分を大事にすることにつながります。日体大には先輩たちが築いてきたナンバーワンのブランドがあります。それをしっかりと受け継ぎ、自らを律し、自覚ある行動をとって欲しいと思います。



小林 節 (こばやし せつ)  
1949年生まれ 東京都出身  
慶應義塾大学教授 弁護士  
学校法人日本体育会学事顧問 法学博士  
慶應義塾大学卒業後、ハーバード大学研究員等を経て現職。すでに、1,000人を超える研究会OB・OGは、政界、官界、法曹界、実業界、マス・メディアなど、全世界で活躍し、社会的に高い評価を受けている。





スポーツシンポジウム「スポーツの中の社会的常識」

パネリスト

増島 みどり氏

## 日体発新しい体育会の レギュレーションを

今年、箱根駅伝を取材した際、ある選手からこう言われました。「予選会から出てきたことは、とてもよかったと思う」と。起きたことは非常に残念だが、それを、個人の責任だけでなく、自分たちの問題としても受け止めようとした。選手の、清々しい態度が印象に残っています。

スポーツマンシップという言葉は、記録や結果以上に、アスリートの生き方そのものを表していると思います。そこには誇り、競技や他者に対するリスペクト（敬意）があるでしょう。かつて、日体大の陸上部はキャプテンが監督役も務め、メニューを考え、トレーニングを指導していました。先輩に対する敬意、自主性。学生が備えるべきスポーツマンシップとは何かという答えが、日体大の伝統の中にあります。

皆さんには、「これから社会に出る」のではなく、「もうすでに社会の中で生きているんだ」という意識を持つて欲しいと思います。言われたからこのような場に出席するのではなく、自らの意思でいろいろな問題について話し合う機会を設けてください。日体大は、学生が自分たちで考えたレギュレーションで問題を判断し行動する。そうだった時、私は皆さんのことを心からリスペクトします。



増島 みどり(ますじま みどり)  
1961年生まれ 神奈川県出身  
スポーツライター  
スポーツ紙記者として五輪、サッカー、プロ野球などを担当し、1997年からフリーのスポーツライターとして活動を開始。五輪、世界陸上などビッグイベントを中心に年間多数の海外現地取材もこなす。

パネリスト

松本 一路氏

## スポーツ界、 そして社会の模範であれ

先日のバンクーバー五輪開会式で、IOCロゲ会長が述べた挨拶。『選手の皆さん。あなたがたは全世界の選手であるいは若者全体の模範であつて欲しい』。この言葉を、アスリート、指導者として、トップを目指す皆さんにそのまま伝えたいと思います。

昨年、テレビや新聞を見ていて、日体大の学生として残念な思いを抱いた皆さんも多いでしょう。メディアは冷たい。アスリートにわずかな甘えや驕りも許しません。こんなに厳しい練習をしているのだから、ほんの少しは羽目をはずしても許されるだろう。試合だから授業を休んでも当然だ。ひよつとして、皆さんがそんな気持ちを持つていないか、気がかりでなりません。いわゆる、スポーツエリートの落とし穴に陥つて欲しくないのです。

社会のルールはスポーツのルール以上に厳しい。試合と人生はまったく違います。極端なことを言えば、人生ではたった一度のルール違反で、社会人としての信用すべてを失ってしまうことさえあるのです。

日体大のユニフォーム姿は、我々ジャーナリストの目に、実に堂々と映ります。誇りと品格をより一層持つて、日本のスポーツ界、さらに社会で日本の若者の模範となるよう頑張ってください。



松本 一路(まつもと いちろ)  
1947年生まれ 香川県出身  
スポーツジャーナリスト 元NHKエグゼクティブアナウンサー  
日本体育大学非常勤講師  
1971年NHK入局。スポーツアナウンサーとして五輪放送4回をはじめ、プロ野球、体操、バレーボール、サッカーなどを担当。甲子園高校野球実況は200試合以上。現在もメディアで活躍する。

パネリスト

森末 慎二氏

## 厳しさこそ 日体大らしさの原点

東京大学の学生と話したことがあります。彼らも非常にプライドを持っている。その東大生が「いろいろな大学がある中で、日体大は認めます」と言っただけです。僕らにないスポーツという才能で、日本一だろうと。そういう大学なんだなと、あらためて思いました。

私の学生時代、日体大の体操競技部員だという意識を頭にインプットされ続けてきました。その中で、揉まれて強くなり、また自覚やプライドが芽生えました。今の学生を見てみると、少し「俺が俺が」という気持ちが強いような気がします。別の大学ですが、私が指導しているチームでも同じことを感じますね。優秀な選手にも常に声をかけていると伸びない。寄り添ってあげないといけない。私なんかは、逆に隠れて一人で練習するようなタイプでしたけど。

正しい事を貫こうとすると自分にも他人にも厳しくなります。厳しい指導は、もちろん信頼関係があつてこそ成り立つもの。日体大ばかりでなく、学生全般の感覚が変わってきて、昔のやり方がそのまま通用するわけではありませんが、いわゆる規律や礼儀、厳しさといった体育会気質はとても重要なことだと思つています。

今になって思い出すのは、きつかった練習、寮生活のこと。日体大らしさはそこにあると思います。



森末 慎二(もりすえ しんじ)  
1957年生まれ 岡山県出身  
オリンピックメダリスト タレント  
九州共立大学特別客員教授  
本学体育学部卒。1984年ロサンゼルス五輪体操競技個人種目別鉄棒で金、跳馬で銀、団体で銅メダル。一大会で金・銀・銅メダルを獲得する偉業を達成。タレント活動とともに、指導者としても手腕を発揮する。



# 【クリーン大作戦展開中】 スポーツマン精神を身につけてこそ 本物のアスリート、教員になれる!



本誌22号でもご紹介した通り、地域貢献活動の一環として始まった「クリーン大作戦」の輪が大きく広がっています。  
学友会クラブ・サークル74団体の中から約20団体ごとの担当者を決め、キャンパスや駅周辺の清掃活動を行うもので、  
2009年度は合計7回実施し、延べ1,977名の学生が参加しました。  
日体大生に対して地域の方々の期待も高く、常に注目を集めています。  
他者のことを理解し、思いやりの心で接することがスポーツマン精神の基本。  
新入生の皆さんも社会人としてのマナーを心がけましょう。



いつも通っているビルの前もきれいに  
(2009年6月/渋谷)



おそろいのビブスを着用

## ◆平成22年度 予定

|     | 日時             | 場所     |
|-----|----------------|--------|
| 第1回 | 平成22年4月17日(土)  | 両キャンパス |
| 第2回 | 平成22年5月15日(土)  | 両キャンパス |
| 第3回 | 平成22年7月31日(土)  | 両キャンパス |
| 第4回 | 平成22年10月16日(土) | 両キャンパス |
| 第5回 | 平成22年12月18日(土) | 両キャンパス |
| 第6回 | 平成23年1月15日(土)  | 両キャンパス |
| 第1弾 | 平成22年6月19日(土)  | 未定     |
| 第2弾 | 平成22年11月20日(土) | 未定     |

## ◆平成21年度 実績

|     | 日時             | 場所            | 人数    |
|-----|----------------|---------------|-------|
| 第1回 | 平成21年5月16日(土)  | 東京・世田谷キャンパス周辺 | 177   |
| 第2回 | 平成21年6月20日(土)  | 横浜・健志台キャンパス周辺 | 348   |
| 第3回 | 平成21年10月10日(土) | 横浜・健志台キャンパス周辺 | 251   |
| 第4回 | 平成21年11月21日(土) | 東京・世田谷キャンパス周辺 | 237   |
| 第5回 | 平成21年12月19日(土) | 東京・世田谷キャンパス周辺 | 276   |
| 第6回 | 平成22年1月16日(土)  | 横浜・健志台キャンパス周辺 | 358   |
| 第1弾 | 平成21年6月27日(土)  | 渋谷駅周辺         | 180   |
| 第2弾 | 平成21年11月14日(土) | 渋谷駅周辺         | 150   |
| 合 計 |                |               | 1,977 |

皆さんへ

Message

## 街の掃除は 心の掃除



**栗田 ひかり** (くりた ひかり)  
健康学科4年  
キャン・インストラクター・アカデミー  
法政大学女子高校出身

私たちキャン・インストラクター・アカデミーは昨年度、新たな試みで総務部の方々と一緒に本部側としてクリーン大作戦に携わらせていただきました。多くのクラブ・サークルの方々と、日体大の周りや渋谷駅周辺のゴミを拾うことや、巡回などを行いました。近隣住民の方々から「ありがとう」と声をかけられることもありましたが、クリーン大作戦を行う前まではゴミ拾いをするのがこんなに清々しい事だなんて思ったこともありませんでした。街を綺麗にすることは街のためだけではなく、自分自身のために行うことだと学べた良いきっかけになったと思います。初めは面倒だと思ってしまうかと思いますが、是非参加して積極的に取り組んでみてください。

クリーン大作戦を企画運営しています総務部の堀内です。クリーン大作戦は総務部を中心にキャンパス周辺の清掃活動を行っています。毎回たくさんの運動部の皆さんと清掃活動をする、クラブ間の友好関係が向上することはもちろん、地域の皆様から「ありがとう」の言葉をいただきます。普通の大学生活だけではなかなかできない体験です。毎日スポーツに打ち込んでいる人たちが、同じ目的意識で清掃活動を行うことは、すごく清々しく、街もきれいになり良いことばかりです。昨年には有志の方も含めた渋谷でのクリーン大作戦も行い、清掃する場所も人間力も幅広くなっています。小さなことからモラルやマナーを向上していく。興味があれば総務部へ!

## ゴミが ないのが 一番!



**堀内 翔平** (ほりうち しょうへい)  
健康学科3年  
総務部  
日本大学第二高校出身





渋谷駅に全員集合（2009年6月）

## 充実した大学生活を送るためのマナー

- ①授業やクラブ活動で他人に迷惑をかけないこと  
真摯に取り組むこと、時間を守ることは第一歩です
- ②常に考え、目的をもって行動すること。  
高校とは違い、大学では自立と責任が求められます。
- ③キャンパスを出ても、社会のルールを守る。
- ④日体大生としてのプライドを常に持ち続けること



日頃利用している通学路をきれいに清掃



集まるゴミを見てマナーの大切さを実感



駅前で集合し、道具を配ります。



お世話になっている地域の方に感謝をこめて



呑川も入念に掃除をしました

## Message

## 新入生の

クリーン大作戦とは、日体大生がよくお世話になっている場所をきれいに  
する活動です。総務部が企画して毎回たくさんのクラブ、サークルのメンバ  
ーが参加します。私は、ライフセービング部として第二回から参加させて頂い  
ています。毎回きれいになっていく街を見てとても嬉しく思います。しかしい  
つも変わらないゴミの多さに驚かされます。

ライフセーバーは、海に行く时必须のビーチクリーンをします。それは、海  
の状況を把握し、周りの環境を整えなければ事故を未然に防ぐことができな  
いからです。ゴミを拾って街をきれいにすることも大切ですが、捨てないよう  
に啓発することもできたなら、よりきれいな街を保つことができるのではない  
かと思います。

きれいな街を  
保つためには  
汚さないこと



**佐伯 芽維**（さえき めい）  
体育学科3年  
ライフセービング部  
唐津東高校出身

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

日体大に入学するにあたって、皆さんに自覚して頂きたいことがあります。  
それは、私たちの大学は読んで字の如く、日本のスポーツ学生代表だ  
ということ。真のスポーツマンというのは、ただ身体と技を鍛えているだ  
けではなく、心も豊かにして、心・技・体の全てが揃って初めてスポーツマンと  
言えるのです。このクリーン大作戦では、地域の掃除と共に心を綺麗にする  
ということにも繋がっています。

皆さんもこの様なボランティア活動に積極的に参加して、心・技・体の全  
てを鍛えて本物の日体生を目指しましょう。

日体生と  
しての  
誇りを胸に！



**奥田 健介**（おくだ けんすけ）  
体育学科4年  
空手道部  
首里高校出身





## TOPICS

## 平成21年度卒業生・修了生 おめでとうございます。

平成22年3月10日(水)、横浜・健志台キャンパスにおきまして卒業式及び学位記授与式が挙行されました。インターネットライブ中継も行い、多くの方が式典の様子を視聴していました。平成21年度の卒業生及び修了生の人数は以下の通りです。今後のご活躍をお祈りいたします。

| 設置 | 体育学部  |      |      |        | 専攻科   | 大学院    |        |
|----|-------|------|------|--------|-------|--------|--------|
|    | 体育学科  | 健康学科 | 武道学科 | 社会体育学科 | 体育専攻科 | 博士前期課程 | 博士後期課程 |
| 大学 | 806   | 176  | 115  | 191    | 8     | 26     | 7      |
| 合計 | 1,288 |      |      |        | 8     | 33     |        |

|    | 体育科 | 幼児教育保育科 | 専攻科保育専攻 |
|----|-----|---------|---------|
| 短大 | 128 | 41      | 33      |
| 合計 | 169 |         | 33      |



## TOPICS

## 「平成21年度伝統芸能研究発表実演会」が 開催されました。

平成22年2月8日(月)国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「平成21年度伝統芸能研究発表実演会」が開催されました。

今年は武道学科伝統芸能コースの開設10周年記念イベントとして開催され、日本の伝統芸能に関する教育と研究の成果を広く社会に実演発表することにより伝統芸能の振興に寄与することを目的に行いました。

当日は、関係者等300人近い観衆が集まり、日本舞踊や和太鼓、琉球舞踊、民謡など多彩な34演目が披露され、日本人の心と、そこから湧き出てくる素朴な伝統美を堪能していました。



## TOPICS

## 「第7回体育・スポーツ科学関連三大学院 合同研究発表会」が本学で開催されました。

平成22年3月13日(土)、東京・世田谷キャンパスにおいて「第7回体育・スポーツ科学関連三大学院合同研究発表会」が日本体育大学、日本女子体育大学、国士舘大学と連携して開催されました。

「体育系大学院のさらなる発展に向けて」をテーマとし、それぞれの大学院生が研究成果を発表し合い、多様な研究分野の研究成果にふれる場として、活発な意見が飛び交っていました。また、記念講演として東京オリンピック・パラリンピック招致委員会の事務総長・河野一郎先生に、数年間の招致活動について総括していただき、今後のオリンピックに関わった体育系大学のあり方について論議を深めました。

## TOPICS

## 社会貢献活動(交番の日)

平成22年2月27日(土)、東急田園都市線青葉台駅近くの青葉台東急スクエア South-1本館前広場において横浜・健志台キャンパスを管轄する神奈川県警察青葉警察署が実施するイベント、「交番の日」のキャンペーンに本学応援団等が社会貢献の一環として参加しました。

神奈川県警では毎月27日を「交番の日」として、安心して暮らせる地域づくりを目指して様々な活動をしています。日本体育大学はこういった社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。



## TOPICS

## 学生相撲として九重部屋に初の入門生誕生

昨年度相撲部主将立野卓が、九重部屋に初の学生相撲出身として入門することになりました。立野は在学中2007年相撲アジア選手権大会重量級個人優勝など輝かしい成績を残しての入門。九重親方も初の大学相撲出身力士の指導となるが「実績があり体格にも恵まれている」と称しており、今後の活躍が期待されます。

立野 卓(たての まさる)  
2010年武道学科卒業  
1987年9月17日生まれ。  
東京都立川市出身  
身長185cm、体重140kg



九重親方(右)と握手する立野(左) 2010年2月17日

スポーツ課調べ 2月～3月 ※情報は新聞各紙(日体大スポーツ含む)・インターネットからの抜粋、1部団体かつ把握可能な範囲に限る

## 平成21年度[クラブの主な大会成績]

( )は当時の学年

| クラブ名    | 大会名                             | 結果                                                                  | 氏名                                                                      |
|---------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ■バドミントン | 第23回世界女子バドミントン選手権大会予選会          | 団体戦 3位                                                              | 佐藤 冴香(1)                                                                |
| ■水泳(競泳) | JAPAN OPEN (第51回日本短水路選手権水泳競技大会) | 男子400m個人メドレー 優勝<br>女子50m背泳ぎ 5位<br>女子100m背泳ぎ 6位                      | 堀田 裕也(1)<br>田部井 恵理(4)<br>田部井 恵理(4)                                      |
| ■アーチェリー | 第10回全日本学生アーチェリーインドア個人選手権大会      | 男子コンバウンド 2位<br>女子リカーブ 優勝                                            | 島田 隆之(4)<br>早川 漣(3)                                                     |
| ■スケート   | 第44回全日本選抜スピードスケート競技会            | 男子1000m 4位<br>男子3000m 5位<br>女子500m 8位                               | 長内 慎太郎(3)<br>清水 勇介(3)<br>大久保 あゆみ(3)                                     |
| ■スキー    | 第83回全日本学生スキー選手権大会               | 総合 7位<br>男子スーパージ 5位<br>男子SL 10位<br>男子クラシカル10km 4位<br>男子4×10kmリレー 3位 | 山本 幸臣(2)<br>瀧澤 和史(3)<br>内田 辰彦(3)<br>三上 広流(2) 内田 辰彦(3) 勝田 誠二(4) 若井 裕作(4) |
| ■柔道     | ワールドカップ・ウィーン<br>グランプリ・デュッセルドルフ  | 男子60-級 2位<br>男子60-級 5位                                              | 山本 浩史(2)<br>山本 浩史(2)                                                    |



TOPICS

ソン ホンソン 宋 洪善さん講演

平成22年2月17日(水) 本学東京・世田谷キャンパスにて、現在韓国スポーツ科学研究院(Korea Institute of Sports Science)に勤務している宋洪善(ソン ホンソン)さんが『水泳における医科学サポート』をテーマにした講演を行いました。

韓国スポーツ科学研究院(通称KISS)は日本の国立スポーツ科学センターと同じように国家代表選手の競技力向上のために科学的にサポートする機関です。宋さんは、日本体育大学大学院博士課程を修了し、博士号取得。2008年朴泰桓(Park Taewhan)選手メダルプロゼットを立ち上げ2008北京オリンピックで400m金メダル、200m銀メダル獲得を支えました。



TOPICS

平成21年度 退職教員紹介

伊藤 孝 (いとう たかし)

昭和40年に本学を卒業後、助手、講師、助教授を経て、教授。その間、東京大学で医学博士の学位取得。日本体育学会、日本体力医学会、日本衛生学会、日本公衆衛生学会、体力・栄養・免疫学会ほかにて要職歴任。平成7年4月から10年3月まで体育学部長、平成17年6月から平成19年5月まで本学学長・短期大学学部長。学長、学部長在任期間、学校法人日本体育会理事・評議員。平成22年3月定年退職。

今井 毅 (いまい たけし)

昭和39年本学を卒業。インディアナ州立大学大学院およびペンシルバニア州立スリッパリーロック大学大学院修了。昭和48年に短期大学専任講師。助教授を経て、昭和60年に教授。日本レジャー・レクリエーション学会、日本スポーツ産業学会ほかにて、レジャー・レクリエーションに関する活動・研究・著作多数。行政・自治体におけるスポーツ振興にも携わる。平成22年3月定年退職。

円田 善英 (えんだ よしひで)

昭和38年本学を卒業後、助手、講師、助教授を経て、昭和59年に教授。文部科学省認定事業財団法人日本体育協会公認アスレティックトレーナー・スポーツ心理学講師を務める。日本体育学会(現在)、日本教育学会、日本心理学会、日本健康心理学会、日本学校保健学会ほかにて、体育心理を専門に研究・発表。平成22年3月定年退職。

小川 光哉 (おかわ みつや)

昭和38年本学を卒業。高校教諭を経て、昭和40年本学に着任。助手、講師、助教授を経て、昭和58年に教授。東日本学生相模連盟常任理事、全日本学生相模連盟常任理事、財団法人日本相模連盟監事ほか要職を務める。日本体育学会、日本武道学会、日本スポーツ方法学会ほか所属。青年海外協力隊技術専門委員。平成8年スポーツ功労賞受賞。平成22年3月定年退職。

清原 伸彦 (きよはら のぶひこ)

昭和38年本学を卒業後、高校にて体育指導に携わり、本学に着任。講師、助教授を経て、昭和57年教授。水泳部部長、水球総監督を務め、水球部を376連勝、21年間無敗に導く。1984年ロサンゼルスオリンピック水球日本代表監督。学校現場における水泳・集団行動指導法の開発・研究にも顕著な業績を残す。平成22年3月定年退職。

田中 邦雄 (たなか くにお)

昭和37年本学を卒業。高校教諭を経て、昭和46年本学に着任。講師、助教授を経て、平成6年に教授。日本オリンピック委員会オリンピック強化コーチ。第16～18回オリンピック冬季大会強化スタッフスポーツコーチほか、スケートにおける国際的な競技力向上に貢献する。日本体育学会、日本体力医学会ほか所属。平成8年、平成17年スポーツ功労賞受賞。平成22年3月定年退職。

花原 勉 (はなはら つとむ)

昭和38年本学を卒業後、助手、講師、助教授を経て、昭和60年に教授。柔道から転向し、レスリングへ。1964年、東京オリンピックレスリンググレコローマンスタイル・フライ級金メダリスト。本学レスリングの礎を築いた。JOC評議員。日本盲人マラソン協会理事長。平成20年まで日本レスリング協会副会長、理事。平成13年藍綬褒章受賞。平成22年3月定年退職。

森川 貞夫 (もりかわ さだお)

昭和37年東京教育大学卒業、昭和46年同大学院体育学研究科修了。昭和47年本学に着任後、講師、助教授を経て、昭和60年に教授。日本体育学会、日本社会学会、日本社会教育学会、日本スポーツ社会学会、日本スポーツ法学会ほか所属、要職を務める。東京都目黒区社会教育委員会委員、東京都大田区スポーツ振興審議会委員等、行政関係の役職も歴任。平成22年3月定年退職。

TOPICS

平成22年度 入学試験結果

■大学／体育学部

(2010.3.25現在)

※( )内は女子内数 \*倍率=受験者数÷合格者数

| 区 分     |     | 志願者数       | 受験者数       | 合格者数       | 入学予定者数     | 倍率   |
|---------|-----|------------|------------|------------|------------|------|
| 体 育 学 科 | A O | 150 (45)   | 150 (45)   | 97 (30)    | 97 (30)    | 1.55 |
|         | 推 薦 | 490 (146)  | 490 (146)  | 435 (127)  | 431 (126)  | 1.13 |
|         | 一 般 | 1336 (333) | 1325 (330) | 428 (118)  | 283 (67)   | 3.10 |
|         | 学科計 | 1976 (524) | 1965 (521) | 960 (275)  | 811 (223)  | 2.05 |
| 健 康 学 科 | A O | 21 (18)    | 21 (18)    | 17 (15)    | 17 (15)    | 1.24 |
|         | 推 薦 | 36 (24)    | 36 (24)    | 31 (22)    | 31 (22)    | 1.16 |
|         | 一 般 | 468 (157)  | 459 (151)  | 275 (82)   | 159 (55)   | 1.67 |
|         | 学科計 | 525 (199)  | 516 (193)  | 323 (119)  | 207 (92)   | 1.60 |
| 武 道 学 科 | A O | 72 (24)    | 72 (24)    | 59 (21)    | 58 (20)    | 1.22 |
|         | 推 薦 | 41 (8)     | 41 (8)     | 38 (6)     | 38 (6)     | 1.08 |
|         | 一 般 | 52 (9)     | 50 (8)     | 43 (6)     | 39 (6)     | 1.16 |
|         | 学科計 | 165 (41)   | 163 (40)   | 140 (33)   | 135 (32)   | 1.16 |
| 社会体育学科  | A O | 23 (10)    | 23 (10)    | 19 (10)    | 19 (10)    | 1.21 |
|         | 推 薦 | 37 (22)    | 37 (22)    | 26 (14)    | 26 (14)    | 1.42 |
|         | 一 般 | 533 (144)  | 531 (143)  | 328 (91)   | 162 (50)   | 1.62 |
|         | 学科計 | 593 (176)  | 591 (175)  | 373 (115)  | 207 (74)   | 1.58 |
| 合 計     | A O | 266 (97)   | 266 (97)   | 192 (76)   | 191 (75)   | 1.39 |
|         | 推 薦 | 604 (200)  | 604 (200)  | 530 (169)  | 526 (168)  | 1.14 |
|         | 一 般 | 2389 (643) | 2365 (632) | 1074 (297) | 643 (178)  | 2.20 |
|         | 総合計 | 3259 (940) | 3235 (929) | 1796 (542) | 1360 (421) | 1.80 |

※帰国子女は一般入試を含む

■大学院体育科学研究科

| 区 分           | 博士前期課程 |        |        |        | 博士後期課程 |       |       |        |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
|               | 志願者数   | 受験者数   | 合格者数   | 入学予定者数 | 志願者数   | 受験者数  | 合格者数  | 入学予定者数 |
| スポーツ文化・社会科学系  | 13 (2) | 12 (2) | 10 (2) | 10 (2) | 2 (0)  | 2 (0) | 2 (0) | 2 (0)  |
| トレーニング科学系     | 28 (7) | 27 (7) | 17 (4) | 16 (3) | 4 (1)  | 4 (1) | 4 (1) | 4 (1)  |
| 健康科学・スポーツ医科学系 | 5 (0)  | 5 (0)  | 4 (0)  | 4 (0)  | 2 (1)  | 2 (1) | 2 (1) | 2 (1)  |
| 合 計           | 46 (9) | 44 (9) | 31 (6) | 30 (5) | 8 (2)  | 8 (2) | 8 (2) | 8 (2)  |

■短大／体育科・幼児教育保育科

| 区 分     | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 | 倍率   |
|---------|------|------|------|--------|------|
| 体 育 科   | 推 薦  | 85   | 85   | 82     | 1.04 |
|         | 一 般  | 198  | 194  | 193    | 1.01 |
|         | 合 計  | 283  | 279  | 275    | 1.01 |
| 幼児教育保育科 | A O  | 24   | 24   | 20     | 1.20 |
|         | 推 薦  | 32   | 32   | 31     | 1.03 |
|         | 一 般  | 17   | 17   | 5      | 3.40 |
|         | 合 計  | 73   | 73   | 56     | 1.30 |
| 短 大 合 計 | A O  | 24   | 24   | 20     | 1.20 |
|         | 推 薦  | 117  | 117  | 113    | 1.04 |
|         | 一 般  | 215  | 211  | 198    | 1.07 |
|         | 合 計  | 356  | 352  | 331    | 1.06 |

※帰国子女は一般入試を含む ※一般入試は、Ⅱ期試験を含む

■体育専攻科

| 志願者数  | 受験者数  | 合格者数  | 入学予定者数 |
|-------|-------|-------|--------|
| 9 (0) | 9 (0) | 9 (0) | 9 (0)  |

■編入学

| 志願者数      | 受験者数      | 合格者数      | 入学予定者数  |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 104 (103) | 104 (103) | 101 (101) | 95 (95) |

■短期大学部 専攻科保育専攻

| 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|------|------|------|--------|
| 40   | 40   | 40   | 40     |





## ■平成22年度 学年暦

| 月  | 日(曜日)                    | 行 事                                            |
|----|--------------------------|------------------------------------------------|
| 4  | 3(土)                     | 入学式                                            |
|    | 5(月)                     | 前学期授業開始(学部・短大:体育科)                             |
|    | 5(月)～10(土)               | 1年:初年次教育Ⅰ                                      |
|    | 5(月)～9(金)                | 在学生健康診断、履修申告確認等                                |
| 5  | 12(月)                    | 前学期授業開始(短大:幼児教育保育科)                            |
|    | 12(月)～16(金)              | 履修申告確認期間                                       |
|    | 12(月)～16(金)              | 養護実習(健康学科養護コース4年)[5/15(土)まで]                   |
|    | 16(金)                    | 専門演習等履修カード提出期限(学生→担当教員)                        |
| 6  | 24(土)～29(木)              | 幼児教育保育科は7/31までの毎週土曜日は補講予定日(5/1・8は除く)           |
|    | 29(木)                    | 通常授業(昭和の日)                                     |
|    | 6(木)                     | 4/29の振替休日                                      |
|    | 7(金)                     | 7/19の振替休日                                      |
| 7  | 5/24(月)～6/19(土)          | 教育実習(学部4年)                                     |
|    | 7(月)～25(金)               | 教育実習2(短大:幼児教育保育科)                              |
|    | 28(月)～3(土)～18(日)         | 社会福祉援助技術現場実習(健康学科4年)[～9/17(金)まで]               |
|    | 3(土)～7(水)                | 1年:初年次教育Ⅱ(海浜実習)、通常授業                           |
| 8  | 2～4年:通常授業(学部・短大:体育科)     |                                                |
|    | 夏季実習期間(短大:幼児教育保育科)       |                                                |
|    | マリンスポーツ理論・実習(社会体育学科2・3年) |                                                |
|    | キャンプ指導実習(体育・健康・武道学科3年)   |                                                |
| 9  | 4(日)～10(土)               | キャンプ実習(短大:幼児教育保育科)                             |
|    | 7(水)～10(土)               | キャンプ実習(短大:体育科1年)                               |
|    | 11(日)～17(土)              | キャンプ指導実習(体育・武道学科2年)                            |
|    | 13(火)～16(金)              | 水泳指導実習:日赤水上安全法コース(体育学科2・3年)                    |
| 10 | 7月中旬                     | 国際交流実習(短大:体育科2年)                               |
|    | 19(月)                    | 通常授業(海の日)                                      |
|    | 23(金)                    | 前学期授業終了(学部・短大:体育科)                             |
|    | 26(月)～30(金)              | 補講、追・再試験期間(学部・短大:体育科)                          |
| 11 | 2(月)～4(水)                | 夏季休業(学部・短大:体育科)[9/26(日)まで]                     |
|    | 5(木)～10(火)               | 看護臨床実習[9/3(金)まで](予定)                           |
|    | 11(水)～8月中                | 社会教育実習(社会体育学科3年)[～9/26(日)まで]                   |
|    | 8/29(日)～9/7(火)           | 前学期授業終了(短大:幼児教育保育科)                            |
| 12 | 13(月)                    | 補講、追・再試験期間(短大:幼児教育保育科)                         |
|    | 18(土)～20(月)              | 夏季休業(短大:幼児教育保育科)[9/12(日)まで]                    |
|    | 14(火)～17(金)              | エクセター大学短期留学(全学科1・2年)                           |
|    | 17(金)～24(金)              | キャンプ理論・実習(社会体育学科2年)                            |
| 1  | 21(火)～24(金)              | 後学期授業開始(短大:幼児教育保育科)                            |
|    | 27(月)                    | 幼児教育保育科は1/22までの毎週土曜日は補講予定日(12/25、冬季休業中、1/8は除く) |
|    | 9/27(月)～10/8(金)          | 開学記念日(学部・短大:体育科) 幼児教育保育科は通常授業                  |
|    | 11(月)                    | 水泳指導実習:ダイビングコース(体育学科2年)                        |
| 2  | 11(月)～3(水)               | 水泳指導実習:ダイビングコース(体育学科3年)                        |
|    | 21(火)～24(金)              | ゴルフ理論・実習(社会体育学科4年)                             |
|    | 27(月)                    | 後学期授業開始(学部・短大:体育科)                             |
|    | 9/27(月)～10/8(金)          | ホームルーム期間                                       |
| 3  | 11(月)                    | 通常授業(体育の日)                                     |
|    | 1(月)～3(水)                | 日体フェスティバル(うち2日間)(準備日・撤収日含む)                    |
|    | 21(火)～24(金)              | 12月授業終了                                        |
|    | 27(月)～22(水)～24(金)        | 10/11(幼児教育保育科は9/20)の振替休日                       |
| 4  | 23(木)～27(月)              | 11/3(幼児教育保育科は10/11)の振替休日                       |
|    | 5(水)～9(日)                | 冬季休業[1/10(月)まで]                                |
|    | 11(火)～20(木)              | 比較舞踊学実習(武道学科3年)                                |
|    | 21(金)～24(金)              | スキー理論・実習(社会体育学科2年)                             |
| 5  | 25(土)～27(月)              | スキー指導実習(体育・武道学科2年)                             |
|    | 28(金)                    | スキー実習(短大:体育科1年)                                |
|    | 31(月)                    | 1月授業開始                                         |
|    | 1(火)～4(金)                | 後学期授業終了(短大:幼児教育保育科)                            |
| 6  | 7(月)～10(木)               | 11/3の振替休日(短大:幼児教育保育科)                          |
|    | 11(金)～27(日)              | 教育実習1(短大:幼児教育保育科)                              |
|    | 28(月)                    | 後学期授業終了(学部・短大:体育科)                             |
|    | 31(月)                    | 入学試験準備日(関係者以外立入禁止)                             |
| 7  | 1(火)～4(金)                | 平成23年度入学試験(関係者以外立入禁止)                          |
|    | 7(月)～10(木)               | 補講、追・再試験期間                                     |
|    | 11(金)～27(日)              | 伝統芸能実習Ⅰ(武道学科2年)、伝統芸能実習Ⅱ(武道学科3年)                |
|    | 28(月)～3/4(金)             | 冬季実習期間                                         |
| 8  | 5(水)～9(日)                | 伝統文化実習・外国語実践実習(武道学科3年)                         |
|    | 11(金)～27(日)              | スポーツ現場実習(短大:体育科1年)                             |
|    | 28(月)～3/4(金)             | スケート指導実習(体育・健康・武道学科3年)                         |
|    | 11(金)～21(月)              | スケート実習(短大)                                     |
| 9  | 12(土)～21(月)              | スキー指導実習(体育・武道学科2年)2・3団志賀高原                     |
|    | 22(火)～26(土)              | スケート理論・実習(社会体育学科3年)                            |
|    | 2月中旬～下旬                  | 介護等体験事前指導講習会                                   |
|    | 28(月)～3/4(金)             | ホームルーム、次年度履修申告等手続期間                            |
| 10 | 10(木)                    | 卒業式                                            |
|    | 11(金)～                   | 春季休業[3/31(木)まで]                                |

注) 実習等の期間については、変更することがあります。

## ■平成22年度新採用教員紹介

- ①[所属:職名]  
②所属学科  
③研究室  
④最終学歴  
⑤学位



山本 健之 (やまもと けんじ)

- ①[大学:准教授]  
②体育学科  
③運動方法(バレーボール)  
④日本体育大学体育学部体育学科



根本 研 (ねもと けん)

- ①[大学:准教授]  
②体育学科  
③運動方法(バレーボール)  
④日本体育大学大学院体育科学研究科 博士後期課程  
⑤修士(体育科学)



小林 正利 (こばやし まさとし)

- ①[大学:准教授]  
②健康学科  
③健康教育  
④日本体育大学大学院体育学研究科 博士前期課程  
⑤博士(医学)



齊藤 崇 (さいとう たかし)

- ①[短大:准教授]  
②幼児教育保育科  
③幼児教育専門  
④東京福祉大学大学院心理学研究科 博士課程前期  
⑤修士(臨床心理学)



新里 知佳野 (しんざと ちかの)

- ①[大学:助教]  
②武道学科  
③運動方法(剣道)  
④日本体育大学大学院体育科学研究科 博士前期課程  
⑤修士(体育科学)

## 日本体育大学は、2010年4月より パスモ付学生証を 導入しています!!

※電子マネー決済・出席管理・図書利用カードなど多彩な機能で学生生活をサポートします。



表紙  
ダブルダッチサークル  
(左から)  
仲野 理紗  
吉川 未紗  
喜屋武 央  
小松 慶奈  
根本 哲也

JAPAN OPEN'10シングルス、ダブルス優勝

[編集後記] この学報を年3回編集作業を行う広報課は、事務組織改編によって誕生し5年目に入りました。担当する業務の拡大とともに人員も6人体制へと増員され重大な役割を担うことになりました。大学公式ホームページ、大学・短大案内、マスメディア対応と連携をはじめ各種の広報活動を実施・拡大してきました。東京世田谷キャンパス再開発案内看板を設置したのが4年前、先月中旬に完成が近づいた教育研究棟最高部に「體大」と「日本体育大学」のロゴを見つけ、ついつい足を止めて眺めています。グランドオープンに向けても体育館棟に広報スペース開設の準備をスタートしており再開発の完成と併せ楽しみが膨らみます。今号は、日体大の伝統を引き継ぎ大きく成長する原石である新入生を迎える入学式に配布されます。昨年からの就職氷河期にあって、その新入生と在学生の将来が明るいものとなるためにも、広報課の活躍がますます期待されるところです。